



感震ブレーカーは、地震の時、 自動で電気を遮断。設置しましょう。

ご存じですか？ 地震による火災の過半数は電気が原因という事実。

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。

そのうち過半数が電気関係の出火でした。

地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、
停電が復旧したときに発生する火災のことです。

※日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」より作成



南海トラフ巨大地震はいつ発生するか分かりません。
住宅の耐震化や家具の固定とあわせて、
通電火災の対策に効果的な感震ブレーカーを設置しましょう。



内閣府動画



総務省動画

令和6年4月1日現在

感震ブレーカーはいろいろなタイプがあります。
製品ごとの特徴や注意点を理解して、選びましょう！
金額は目安でお近くの電気屋さんなどにご相談ください。

製品ごとの特徴・注意点を踏まえ、適切に選びましょう！

分電盤タイプ(内蔵型)

費用：約5～8万円(標準的なもの) ※電気工事が必要

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

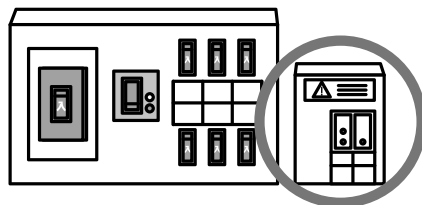


分電盤タイプ(後付型)

費用：約2万円 ※電気工事が必要

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能



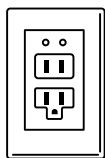
コンセントタイプ

費用：約5千円～2万円程度

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

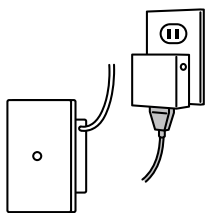
(埋込型)

壁面などに
取り付けて
使うもの
※電気工事が必要



(タップ型)

既存のコンセント
に差し込んで
使うもの
※電気工事が
不要

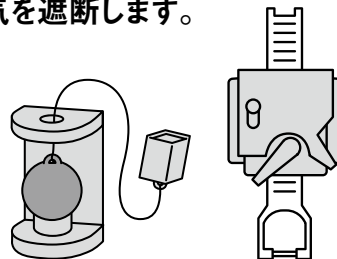


簡易タイプ

費用：約2～4千円程度

※ホームセンターや家電量販店で購入可能(電気工事不要)

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。



おもり玉式

バネ式

感震装置のはたらき【分電盤タイプの場合】

基本動作

地震探知後、3分が経過すると、主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。

地震検知

検知から3分後

警報 ON(3分間)

警報 OFF

通電

通電遮断

地震探知後3分以内に
停電が発生した場合

復電直後に主幹漏電ブレーカーを
自動遮断します。

感震ブレーカー等には認定制度があります。
「感震機能付住宅用分電盤認定制度」や
「消防防災製品等推奨制度」に基づき、所要の性能が
確認された製品には、認証マークが貼られています。

